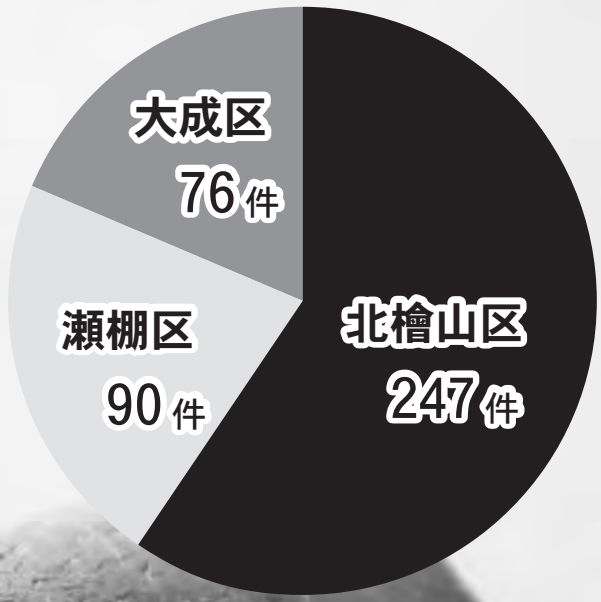
申請件数	平成24年度	平成25年度 ※2月末現在見込	合計
北檜山区	100 件	147 件	247 件
瀬　棚　区	40 件	50 件	90 件
大　成　区	38 件	38 件	76 件
合計	178 件	235 件	413 件

助成金額	平成24年度	平成25年度 ※2月末現在見込	合計
北檜山区	15,253,000円	23,605,000円	38,858,000円
瀬　棚　区	5,899,000円	7,697,000円	13,596,000円
大　成　区	5,706,000円	6,426,000円	12,132,000円
合計	26,858,000円	37,728,000円	64,586,000円

申請件数（2年間）



合計 413件

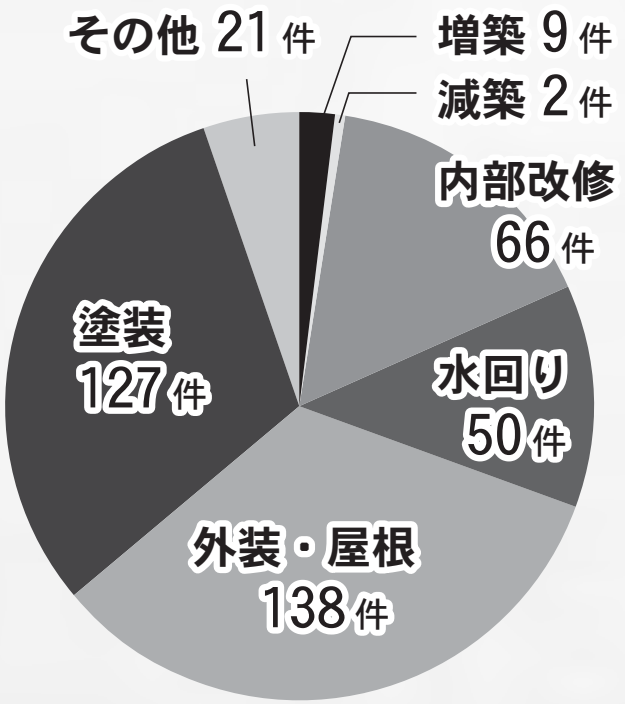
績

済効果が

施工内容別	平成24年度	平成25年度 ※2月末現在見込	合計
増　築	3 件	6 件	9 件
減　築	2 件	0 件	2 件
内部改修	23 件	43 件	66 件
水回り	28 件	22 件	50 件
外装・屋根	62 件	76 件	138 件
塗　装	49 件	78 件	127 件
その他	11 件	10 件	21 件
合計	178 件	235 件	413 件

対象事業費総額	平成24年度	平成25年度 ※2月末現在見込	合計
北檜山区	1億635万円	1億8,742万円	2億9,377万円
瀬棚区	4,746万円	6,326万円	1億1,072万円
大成区	4,818万円	6,010万円	1億828万円
合計	2億199万円	3億1,078万円	5億1,277万円

施工内容別の実績（2年間）



平成24年度から改築（リフォーム）を支援

せたな町では、住民に高齢者や退職者が多い現状を踏まえ、新築よりもニーズの高い改築（リフォーム）を支援し、住みよい環境の整備をしてもらおうと、平成24年4月1日から「住宅リフォーム助成事業」を実施しています。

この住宅リフォーム助成事業は、町民が町内の事業者に依頼して住居を改修する場合、工事費の一部を町が負担する制度で、1件20万円を上限に工事費の2割を助成しています。

申請数は予想を上回り大きな経済効果にも

制度開始からこれまで約2年間、多くの町民の皆さんに利用していただき、右ページのグラフや表のとおり、申請件数は413件にも上る結果となりました。特に平成25年度は、平成26年4月からの消費増税の影響もあり、平成24年度と比べ、申請は50件以上増えています。

助成金の総額は2年間で約6400万円になり、自己負担分を含めた事業費（リフォーム経費）総額は5億円を超え、大きな経済効果にもつながる結果となっています。

外装・屋根の改修と塗装が主な施工内容に

リフォームの施工内容を見ると、「外装・屋根の改修」と「塗装」が多く、上の円グラフからも申請者の6割以上を占めています。次いで、「内部改修」と「水回りの改修」が続き、この4種が主な施工内容となっています。

期間を延長して平成26年度も実施します

この「住宅リフォーム助成事業」については、今年度で事業終了予定となっておりましたが、期間を延長して平成26年度も実施することとなりました。

担当
総務課まちづくり推進係

せたな町住宅リフォーム助成金事業の実
2年間で5億円の経

1月12日から18日まで10人のハンフォード市訪問団が、アメリカカリフォルニア州にある姉妹都市ハンフォード市を訪問しました。今回は初めての中学生訪問ということでしたが、ホームステイをしながら教育施設などを訪問し、現地の皆さんと交流を深めて元気に帰ってきました。

深め合った友好の絆
ハンフォード市訪問団
2014.1.12～1.18　せたな町姉妹都市交流推進協議会

ウェルカムパーティでは、ハッピを着て「ラジオ体操」を披露！
盛り上がってハッピをプレゼント！全員にハットとTシャツのうれしいプレゼントも！

全員でジョンFケネディ中学校を見学。クラーク美術館や珍しい山羊牧場も見学させてもらいました。

なんと、消防車に乗っての市内観光！サイレンを鳴らし赤信号を青に換えながらのVIP走行。偶然通りかかったパトカーにも乗せてもらいました！

牛が取り持つ縁で交流も24年目に

牛が取り持つ縁で、せたな町とハンフォード市の姉妹都市交流が始まって今年で24年目になります。

今まで瀬棚商業高校の生徒が見学旅行として訪問をしていましたが、瀬棚商業高校が昨年3月に閉校になり、今度は中学生の訪問となりました。

今回の訪問団は全員が初めての参加であり、協議会としても心配はありましたが、その心配もよそに無事予定通り日程をこなして帰国されました。

ハンフォード側も高校から、中学校に替わったことで少し準備不足もあったようですが、快く訪問団を受け入れてくれました。

今回参加した中学生の皆さんは、短い期間でしたが、それぞれにいい経験をしてきたものと思っています。今後も町民の人材育成のため、この訪問を続けていきたいと思っています。

町民皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

せたな町姉妹都市交流推進協議会
会長　鵜入 泰宏

ハンフォード訪問を通じて

大成中学校英語教諭　富樫　耀

“Yeah, nice to meet you~.”と握手の嵐、“Let´s take commemorative pictures!”とフラッシュの嵐、とにかく熱烈な歓迎。例え英語がわからなかったとしても、熱く伝わるハンフォードの方の心。「コミュニケーション」を深く感じさせられた、あっという間のホームステイでした。

現地での買い物や食事、学校訪問などと、様々な体験があったわけですが、正直上手く聴き取れなかったり、話せなかったことが多々ありました。ですが、逆に身振りや表情でわかったり、伝えられることも沢山ありました。

英語を上手く使えれば、それに越したことはありません。ですが、言葉が異なる、上手く使えないからこそ、「コミュニケーション」に必死になれる、ということもあるのではないでしょうか。一英語教員として、一人の人として大きな学びを得られた訪問でした。

ハンフォード訪問について

瀬棚中学校3年　松永 登偉

北海道は一日中ずっと寒いですが、ハンフォードは一日の寒暖の差が激しく、朝と夜は北海道より少し暖かい程度でしたが、昼間は20℃ 以上ありとても暖かかったです。そして、行く前に一番心配していた「ちゃんと英語でコミュニケーションできるだろうか」という問題は富樫先生の通訳のおかげと、知っている単語だけで意外となんとかなりました。（何を言っているかわからない時は“I can´t speak English”や“I don´t know”で乗り切りました）

サンフランシスコからハンフォードに行く際に、消防車３台がバスを誘導してくれました。しかも、赤信号を青に変えたりと面白いこともありました。

ハンフォードの人たちはとても優しくて面白い人が多かったです。友達もできたし、ホストファミリーのポールとリサとも仲良くなれたりと、異文化にふれながら交流ができてとても充実とした訪問でした。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

最終日の夜、ショッピングモールのバイキングレストランにて全員で食事をしました。短い時間でしたが、お世話になった皆さんと別れを惜しんで楽しく懇談。そして、思い出に記念撮影！

訪問団メンバー		ホームステイ先
1	古守　陽（大成中1年）	Luis-Antonio and Lucy Gomez（教育関係責任者）宅
2	生出　陸人（瀬棚中1年）	Paul Terry （教育長） 宅
3	倉見　友陽（瀬棚中1年）	Paul Terry （教育長） 宅
4	秦　夕日（瀬棚中2年）	Luis-Antonio and Lucy Gomez（教育関係責任者）宅
5	松永　登偉（瀬棚中3年）	Paul Terry （教育長） 宅
6	大串野乃佳（北檜山中1年）	Luis-Antonio and Lucy Gomez（教育関係責任者）宅
7	斉藤みやび（北檜山中2年）	Luis-Antonio and Lucy Gomez（教育関係責任者）宅
8	森　史織（成人）	Karen McConnell（教育関係責任者）宅
9	大口　智美（成人）	Karen McConnell（教育関係責任者）宅
10	富樫　耀（引率）	Paul Terry （教育長） 宅

訪問団スケジュール	
1/12	せたな町出発（新千歳→韓国）
1/13	韓国→ハンフォード市 ホストファミリーと対面
1/14	ホームステイ先で終日滞在 ハンフォード市内観光 ウェルカムパーティに出席
1/15	ホームステイ先で終日滞在 ジョンFケネディ中学校など見学 関係者全員で夕食会
1/16 ～18	ハンフォード→ロサンゼルス →韓国→新千歳空港→せたな町